

(令和 2 年度第 1 回) 喜多方市立小中学校適正配置等検討委員会では出された意見等について

- 1 日時 令和 2 年 1 2 月 2 4 日 (木) 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 3 0
- 2 会場 第二委員会室
- 3 内容 (1) 開会
(2) 委員長あいさつ
(3) 協議
喜多方市立小中学校適正規模適正配置実施計画 (案) たたき台について
今後のスケジュールについて
(4) その他
(5) 閉会
- 4 委員からの指摘により資料の修正、考え方を整理したもの

	出された意見	対応
1	別紙 1 P 1 I - 1 - (1) イの①②について、地域の分断への配慮と思うが、表現方法が分かりづらい。	①について、「単独又は複数の公民館の活動対象区域を基本とする。」を「行政区や公民館の活動対象区域を基本とし、区域が分断されないことへ配慮することとする。」に修正する。 ②について、「単独又は複数の既存中学校区の範囲を基本とする。」を「既存中学校区の区域を基本とし、区域が分断されないことへ配慮することとする。」に修正する。
2	別紙 1 P 1 I - 1 - (2) 通学時間、通学距離に記載の「おおむね」の「意味」について	同じ学校へ一緒に通っている、近所に住む児童生徒でも、自宅から学校までの通学距離は相違している。一緒に通学している友達同士が、通学距離の目安を一律に何kmとすることにより、通学手段が異なることにならないといった考え方を基本としたいため「おおむね」を使用している。
3	別紙 1 P 6 I - 4 4 の検討の視点について、もう少し詳細に記載した方が良いのではないかと。 児童数が少ない学校の保護者は、少ない中での教育環境を心配している。児童生徒数が少なくとも、同じく教育を受けられる環境を整備していくことについて記載があれば、保護者は安心すると思われる。	実施計画 (案) を検討していく中で、具体的な内容については、今後、検討していくこととする。
4	別紙 1 P 7 III 上三宮小の現在の推計値 (たたき台 P 7) と別紙「地域設定 (学区) と学校規模のシミュレーション」の将来 (2060 年) の上三宮小の児童数 (44 人) に差があり違和感がある。(2060 年は現在より増加するのか。)	市の長期人口ビジョンにおける将来展望人口のデータを基に今後の児童生徒数を推計したものであり、推計の中では、本市の施策効果により人口増加を見込んでいる要素がある。 適正規模適正配置については、長期的な視点から考える必要があることから、長期人口ビジョンの数値を使用していく。

		<p>なお、別紙「地域設定（学区）と学校規模のシミュレーション」の表紙の説明書きに、「なお、学校規模の参考とするため、各パターンに、長期人口ビジョンを基に推計した将来（2060年）の児童生徒数、学級数等について記載していません。」を追記する。</p>
5	<p>別紙「地域設定（学区）と学校規模のシミュレーション」</p> <p>現行パターンについて、他のAやBのパターンとは違い、現状維持のパターンではなく、現状の説明であると、説明を聞くまで理解していた。記載方法等に工夫が必要ではないか。</p>	<p>現行パターンについても、1つのパターンであり、そのことをわかりやすくするため、現行パターンをパターンA（現行）として、各地区のパターンについて修正を行う。</p>

5 会議の経過がわかる資料【委員から出された意見等（要旨）】

- ・ 公民館の活動対象区域について、関柴地区では関柴小と第二小で学区が分かれていることについては検討したのか。
- ・ 公民館の活動対象区域と、学区は相違している。コミュニティを重視してという説明だが、学区だからこそ、学区に基づくコミュニティが形成され、コミュニティが保たれているところがあるのではないか。
- ・ 学級の人数について、国の基準に変更があるようであるが、影響は。（小規模校の教員数が問題となるので、緩和されていく方向と考える。）
- ・ 通学時間をおおむね40分とした根拠について、しっかりとまとめておいた方がよいのではないか。
- ・ 「おおむね」とは8割程度で使用する場合もある。意味するところは、ちょうど何分なり何kmを意味するものではないということか。
- ・ 審議会等で説明していく中で、「おおむね」の考え方、また、40分という通学時間に基づき距離の目安を決定しているのだから、40分については、しっかりと説明ができるようにしておいた方がよい。
(根拠としている国の調査研究についての信ぴょう性の再確認)
- ・ 公民館の対象範囲や地域との関係について、現在、住民自治の考えが出ている。
地区（地域、コミュニティ）で学区が2つに分かれていることは、今後、住民自治を進める上で影響が出るのではないか。
私の住んでいる、関柴地区では、例えば交通安全週間の時に子どものため、関柴小と第二小で取り組んでいる。
- ・ 別冊となっている「地域設定（学区）と学校規模のシミュレーション」について、今後どのように取り扱っていくのか。実施計画案に組み込まれていくのか。審議会前までには、もう少しパターン等を整理していくのか。（今後の、会議ではシミュレーションを整理した上で、検討が行われていくのか。）
- ・ 山都三小の統合の際は、保護者説明会の中で、早く統合してもらいたいとの声があった経過がある。上三宮小について、保護者の声は聴いているのか。
- ・ 上三宮小について、令和3年度をもって、廃校の可能性が高いようであるが、学校施設の利活用について、検討はまだしていないということか。
- ・ 放課後児童クラブに影響が出てくるので、今後については、関係課が連携し整理を行ってほしい。